

令和8年度

さいたま市立岩槻中学校だより

9月号 (令和8年8月27日発行)



槻 の 若 木

〒339-0054 岩 槻 区 仲 町 1-14-35

電 話 : 048-756-0254

FAX : 048-758-7483

HP : <http://iwatsuki-j.saitama-city.ed.jp>

Mail : iwatsuki-j@saitama-city.ed.jp

「日々の積み重ね」

校長 金子 宜史

先日、深夜に発生した地震により、自然災害の脅威を改めて身近なものとして感じさせられました。7月に起きた熊本地震、8月の千葉豪雨災害で被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げますとともに、厳しい暑さの中ですが、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

さて、夏休みが終わり、学校に生徒たちの元気な声が戻ってきました。1学期の終業式では、この夏休みは、公立高校の面接試験も視野に入れながら「振り返り」と「挑戦」の夏休みにしてくださいとお話ししました。「この夏休み、こんなことに挑戦し、こんなことを学んだ」と、一つでも自信をもって語れるものができれば、自分の財産になっているはずです。

【岩中生の活躍と日々の積み重ね】～祝 全国・関東大会出場～

市の大会を勝ち上がり、陸上・ソフトテニス・水泳・新体操・硬式テニスの競技では、県大会出場を果たし、県大会の舞台で全力プレーを見せてくれました。最後の市の大会で、記録を出し、念願の県大会に出場を果たした生徒もいます。自分に負けず日々練習を積み重ねてきた結果です。また、公民館主催のイベントや講座では、箏曲部や科学部の生徒が講師となり、地域の方や小学生に教える活動を行いました。その取り組みは大変好評でした。生徒会長は、ストップいじめ子どもサミットに参加し、岩槻ブロックの代表としてリーダーシップを発揮し、意見をまとめ、全体会で堂々と発表まで行ってくれました。吹奏楽部や美術部は、3年生最後のコンクールや展覧会で、その曲や作品と真摯に向き合い大変立派な演奏や発表をしてくれました。校長室に聴こえてくる演奏は日に日に音が良くなっていくのが分かりましたし、美術部展でも自分の思いや願いがよく表現されていました。英語弁論大会に出場した生徒は、優秀な成績を収め、複数の生徒が、地区の代表として中央大会に出場することが決まりました。

そして最後に、陸上部女子4×100メートルリレーでは、全国・関東大会出場の切符をつかんでくれました。この種目で全国大会に出場するには、学校総合体育大会の県大会の舞台で、優勝することが条件です。たった1度のこのレースに向けて、バトンの技術やチームの結束力を日々積み重ねてきた結果でした。「さいたま岩槻中」の名を全国・関東の舞台に堂々と刻んでくれました。

楽器の音色や英語の発音、0.01秒でもタイムを縮めるために頑張ってきた3年間の努力、自分の作品や技を完成させるための日々の積み重ねの大切さ、生徒たちの姿を通して、日々積み重ねることの大切さを改めて教えられました。現在、夏休み前から駅伝大会に向けて、日々努力している生徒たちもおります。2学期も、岩中生の活躍を大いに期待しております。

2学期は、「80周年記念 若木祭」「80周年記念 合唱祭」「新人体育大会」「未来くるワーク体験」等が行われます。日々の積み重ねと学級や部活、学年を越えた仲間との協力が更に人を大きく成長させてくれます。

保護者の皆様、地域の皆様、2学期も本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。